令和６年度　史跡芭蕉翁生家の管理に関する評価シート

１　施設の概要

名称	史跡芭蕉翁生家
所在地	伊賀市上野赤坂町 304 番地
構成施設等	芭蕉翁生家、和室、釣月軒、事務室
開館日及び 開館時間	月、水、木、金、土、日、祝日 8：30～17：00
休館日	火曜日
施設所管課	文化振興課

２　指定管理者等

団体名称	公益財団法人芭蕉翁顕彰会
指定期間	令和４年４月１日～令和７年３月 31 日
指定管理料	総額 11,558,000 円（令和６年度 3,958,000 円）

３　業務実施の状況

（１）施設の使用の状況

区分	貸出可能数（件）	貸出数（件）	稼働率（%）	利用者数（人）	備　考
和室	308	11	3.6	126	
計	308	11	3.6	126	

（２）利用料金の収入等の状況

区分	利用料金合計(A)	減免額(B)	差引額(A-B)	うち、未収入額
入館料	945,280	0	945,280	0
駐車場	62,900	0	62,900	0
和室使用料	27,000	0	27,000	0
計	1,035,180	0	1,035,180	0

（３）管理に関する収支状況　　単位：円

収入				支出	差引(A-B)
指定管理料	利用料金	その他	合計(A)	合計(B)	
3,958,000	1,035,180	0	4,987,980	5,387,455	Δ399,475

※自主事業に係る経費を除く。

4　評価

（1）史跡芭蕉翁生家の設置目的、評価指標及び達成水準

ア　施設の設置目的

俳聖松尾芭蕉ゆかりの史跡芭蕉翁生家を保存・管理し、一般の観覧に供することによって市民文化の向上及び文化の振興を図るとともに、地域の振興に資する

イ　評価指標及び達成水準

評価指標	達成水準	達成状況
市民文化向上を目的とした各種教室・講座の開催	年５回以上	B
大人の寺子屋３回、気らくに俳句会１回、翁のおもてなし１回 PR 方法を工夫してください		

評価指標	達成水準	達成状況
四季折々の設いを行う等による観覧者数の増加	観覧者数 4,000 人以上	B
4,421 人 施設を活用した新たなイベントを開催してください		

（2）運営業務に関する市の履行確認及び評価

ア　施設の運営に関すること。

業務内容	履行確認	市評価
管理責任者１人を常時配置すること。	○	B
必要な職員として、仕様書に定める係員を配置すること。	○	
職員の勤務形態は史跡芭蕉翁生家の運営に支障がないように定めること。	○	
職員に対して、施設の運営管理に必要な研修を実施すること。	○	
障害者差別解消法の施行に伴う差別を解消するための措置の実施すること。	○	
評価に対するコメント（評価Ｂ以外は必須）		

イ　自主事業（仕様書に定める自主事業をいう。）に関すること。

業務内容	履行確認	市評価
施設の自主事業（仕様書に定める自主事業をいう。）を計画し、実施すること。	○	B
事業実施にあたって、地域住民および利用者の施設に関するニーズを適正に反映すること。	○	
事業実施にあたって、各年齢層や世代間交流を考慮した対象者とすること。	○	
評価に対するコメント（評価Ｂ以外は必須）		

ウ　史跡芭蕉翁生家和室の利用に供すること。

業務内容	履行確認	市評価
利用料金については、市長の承認を得て定めること。	○	B
施設の有効利用、利用促進、利便性の向上等を考慮し、必要に応じて、利用料金の減免または徴収の猶予をすること。	○	
施設設置条例に基づき、適切に使用許可をすること。	○	
施設設置条例に基づき、必要に応じて使用を制限すること。	○	
評価に対するコメント（評価Ｂ以外は必須）		

エ　施設及び設備の維持管理に関すること。

業務内容	履行確認	市評価
施設及び設備に関して仕様書別表１に定める保守管理を行うこと。	○	B
駐車場の管理を行うこと。	○	
施設賠償責任保険に加入すること。	○	
評価に対するコメント（評価Ｂ以外は必須）		

オ　その他

業務内容	履行確認	市評価
緊急時対策、防犯・防災対策について、マニュアルを作成し、職員に指導および訓練すること。	○	B
個人情報の保護に関し、法令に基づき適正な管理体制を取り、職員に周知徹底を図ること。	○	
評価に対するコメント（評価Ｂ以外は必須）		

（3）各種計画書及び報告書等の提出等に関する市の履行確認及び評価

業務内容	履行確認	市評価
事業計画書及び収支計画書を提出し、市の承認を得ること。【中間】	○	B
月次業務報告書を指定の期日までに提出すること。【中間・年度末】	○	
事業報告書及び収支決算書を指定の期日までに提出すること。【中間】	○	
自己評価を行い、モニタリング結果を提出すること。【中間・年度末】	○	
評価に対するコメント（評価Ｂ以外は必須）		

【履行確認】
○：業務を実施した。
×：業務を実施していない。
－：業務が発生しなかった。

【評価の基準】
Ａ：協定書、仕様書等の水準を上回る（履行状況に「×」がなく、仕様以上の業務を行ったとき。）。
Ｂ：協定書、仕様書等の水準を満たしている（履行状況に「×」がないとき。）。
Ｃ：協定書、仕様書等の水準を満たしていない（履行状況に１つ以上「×」があるとき。）。